主催 / 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構　敦賀事業本部　敦賀総合研究開発センター
共催 / 国立大学法人福井大学産学官連携本部協力会　原子力技術研究部会

第59回 敦総研オープンセミナー

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構では、研究開発を通して創出した新技術を地域企業の皆様方に活用して頂くことや、原子力分野へ幅広く参入して頂くために、機構の技術などを紹介する取組みを行っています。今回のセミナーは国立大学法人福井大学産学官連携本部との共催で開催します。

開催日時

福井会場

11月24日（火）14:00～16:00

福井商工会議所ビル2階　会議室D

（〒918-8580　福井市西木田2丁目8-1）

敦賀会場

11月25日（水）14:00～16:00

アクアトム3階　プレゼンホール

（〒914-0063　敦賀市神楽町2丁目2-4）

セミナー内容（一部発表のみ会場ごとに異なります）

発表①（両日共通）

マイクロ波加熱による有機廃棄物の分解と資源化

福井大学　学術研究院工学系部門　物理工学講座　助教　仲川　晃平

近年、廃プラスチックやバイオマスなどの有機廃棄物の有効利用が求められています。本研究では、マイクロ波加熱と触媒を組み合わせ、有機廃棄物を分解することで、水素やカーボンナノチューブなどの有用な資源へ転換する技術の開発に取り組んでいます。

本講演では、マイクロ波加熱の特徴や分解技術の仕組みについて解説するとともに、廃プラスチックや廃タイヤを用いた研究成果を紹介し、資源循環や脱炭素社会の実現に向けた可能性についてお話しします。

発表②（両日共通）

有機系廃溶媒を簡単に分解するマイクロ波プラズマ支援燃焼

原子力機構　核燃料サイクル工学研究所 ＢＥ資源・処分システム開発部 プロジェクト管理課　大野　真平

マイクロ波プラズマ支援燃焼は、高密度のプラズマが生成する豊富なラジカルを利用し、有機系廃溶媒を短時間で分解・無機化する技術です。装置に対象となる廃液を流すだけで処理できる簡便性を有し、様々な廃液への適用が期待されています。また、溶媒中に含まれる有用金属を酸化物として回収可能で、廃棄物削減と資源循環の両立に貢献します。

本講演では、マイクロ波プラズマの特徴、廃溶媒処理および金属回収方法について紹介します。

発表③（両日共通）

技術課題解決促進事業について

原子力機構　敦賀事業本部　敦賀総合研究開発センター　成果展開推進課　髙尾　敦氏

発表④（福井会場のみ）

ヤマウチマテックス株式会社（福井市）

グローブボックス用ナトリウム蒸気捕集装置の検討・試作

発表⑤（敦賀会場のみ）

若狭原子力技術シニアコンサルティング株式会社（敦賀市）

原子炉本体解体等に使用する水中把持ツールの検討・試作

お問い合わせ先：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構　敦賀事業本部　敦賀総合研究開発センター　成果展開推進課
TEL：0770-21-5033　FAX：0770-25-5782